



平成 29 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ダイドーリミテッド
 代表者名 取締役社長 大川 伸
 (コード番号 3205 東証・名証第一部)
 問合せ先 取締役上席執行役員 管理部門担当 福羅 喜代志
 (TEL : 03 - 3257 - 5022)

営業外収益の計上、特別利益の計上、特別損失の計上および繰延税金資産の取崩し ならびに連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において、下記のとおり営業外収益・特別利益・特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しを行う見込みとなりましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 2 月 13 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期の連結業績予想を修正することといたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（補助金収入）の計上

当社の連結子会社である株式会社ダイナシティにおいて「ダイナシティ保育園」を開園するにあたり、内閣府の企業主導型保育事業の助成を受けました。これにより平成 29 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において交付された当該助成金 78 百万円を、補助金収入として営業外収益に計上する見込みです。

2. 特別利益（固定資産売却益）の計上

平成 29 年 3 月 7 日にお知らせいたしましたとおり、連結子会社である株式会社ダイナシティが所有する固定資産を譲渡いたしました。当該譲渡に係る費用等を精査し、平成 29 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において固定資産売却益 1,098 百万円を特別利益に計上する見込みです。

3. 特別損失（減損損失）の計上

当社の連結子会社において、閉店の意志決定をした店舗および収益性の低下した部門について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、平成 29 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間に 188 百万円を減損損失として特別損失に計上する見込みです。

4. 繰延税金資産の取崩し

当社は、平成 29 年 3 月期および今後の業績動向を総合的に勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、当期末において繰延税金資産のうち 164 百万円を取崩し、法人税等調整額に計上する予定です。

5. 業績予想の修正

(1) 平成 29 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 21,300	百万円 △ 1,500	百万円 △ 1,700	百万円 △ 650	円 銭 △ 19.32
今回修正予想(B)	21,408	△ 1,337	△ 1,448	△ 1,521	△ 45.20
増減額(B-A)	108	163	252	△ 871	—
増減率(%)	0.5	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	23,813	△ 918	△ 549	91	2.72

(2) 修正の理由

衣料事業の小売部門において婦人服の売上高が計画比で増加したことなどから、売上高は前回予想を上回る見込みです。

売上高の増加や売上利益率の改善などにより営業利益は前回予想比で損失が減少し、上記営業外収益の計上などにより、経常利益は前回予想比で損失が減少する見込みです。

平成 29 年 3 月 31 日にお知らせいたしましたとおり、平成 29 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間に発生を見込んでいた固定資産の譲渡が平成 30 年 3 月期の計上となったことや、上記の特別損失の計上および繰延税金資産の取崩しを行うことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想比で損失が増加する見込みです。

(注) 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。実際の業績等は、様々な要因により本資料の記述とは異なる結果となる可能性があります。

以上